

# としのり おちいし 俊則

## 活動 NEWS

事務所 福岡市東区奈多1丁目10-12

TEL:092(606)4541 Fax:092(606)6878

HP: <http://www.ochiishi.jp>



### ごあいさつ

先日、「暑」が今年を表す漢字として発表されました。しかし、今年の夏の暑さとは反対に連日のように報道された「児童虐待」と「高齢者の所在不明」、「無縁社会」「孤独死」の寒々としたニュース。

福岡市によると100歳以上の方が622人おられ、市の確認調査で不明者が1人と報告されました。一方で、子ども虐待の問題も深刻です。厚生労働省によると2009年度の児童虐待件数は過去最多の44,210件、福岡市は495件で虐待死も6人と過去最悪になりました。増加する相談に児童相談所の人手不足という面もあります。地域の民生委員さんへの負担も増えています。児童福祉司の増員とともに、妊娠や育児に悩む女性や若者が気軽に相談できる機関の充実が求められます。

高齢者や児童虐待の問題は、私たち一人ひとりが周りに関心を持ち、関係性をもつことから解決の糸口が見えてきます。地域コミュニティが叫ばれている昨今ですが、改めて「関心も持つ」ことの大切さを重く受け止めています。

来年こそは、子どもたちや彼ら彼女らを支える大人たちの顔から笑みがこぼれる年にしたいものです。その役を担うため、私も東奔西走します。

## 聞く。そして、届ける 「ミニ集会・語る会」開催中

◎みなさんの声を市政に、市議会に届けるため、くらしや子育て、雇用、教育環境等についての悩みや要望等を交流し、考える場としています。



- 高齢者が増え、買い物や通院がたいへん、コミュニティバスの運行はできないものなのか。
- 昨年度より妊婦健診が14回に拡充されていたが、今後も引き続き継続してほしい。
- 中学校に配置している不登校対応教員を小学校にも配置してほしい。 \*市内の中学校20校に配置されている。
- 中高年だけではなく、若者向けの就職相談窓口を区役所に設置してほしい。 また、学校で、労働基準法等の働くことに関する権利も教えてほしい。

子どもたちの笑顔をつくる。みんなの笑顔をつくる。

# 郷土の松林が危ない!!! 早急な対策を

## ～ 拡がる「松くい虫」の被害～

赤く枯れた三苦パークウェイ沿いの松



海からの風や潮、飛んでくる砂などから海沿いの暮らしを守るため、私たちの先人は玄界灘沿いに松を植えてきました。

近年、三苦や奈多の松林が赤くなって枯れているのをよく見かけます。

先日、「食・みどり・水を守る環境福岡地域フォーラム」の学習会で福岡森林管理署の方から、「松くい虫」被害の実態や原因、対策を聞く機会を得ました。

### 原因

「松くい虫」という名前の虫はいない。マツノマダラカミキリという昆虫が、病原体となるマツノザイセンチュウ（線虫）を健全な松に運び、枯らしてしまう伝染病。

\*明治38、39年に長崎において日本で最初に確認された後、急速に広がる。

### 被害

今年の夏のような猛暑では「松くい虫」は激しくおこり、前年に枯れた木が周りに多数あればある程、被害は大きくなる。今年、三苦松原で800本、奈多松原で2500本の松を伐採しなければならなく、その数は前年の約10倍。

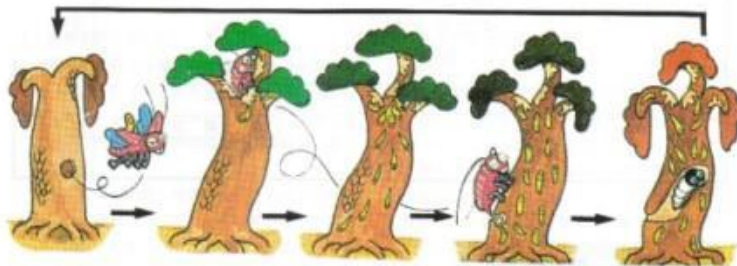
### 対策

薬剤を地上散布し被害を予防。また、被害木を切り倒して薬剤を散布したり、「くん蒸処理」したりして、マツノマダラカミキリの幼虫を駆除。

私が小学生のころは、松林は大切な家庭燃料の採集林でした。祖母たちと奈多の松林に出かけ「松葉かき」と称してたくさんの松葉や枯れ木、松ぼっくりを裏山の納屋に運び入れていたものです。松露もよく採れました。「松くい虫」による枯れ木は燃料として燃やされ、線虫もカミキリも枯れ木とともに灰になっていました。しかし、木炭、石炭から石油への「燃料革命」、その頃から被害が増大したといわれています。

今、松林は危機の状態にあります。松林は防風効果や防潮効果等の高い保安機能があるだけでなく、その景観も古くから住民に親しまれ、貴重な林です。国や県と連携し、徹底的な枯木の除去、効果的な薬品散布等、被害のまん延を防止するための対策を早急におこなうべきだと考えます。

### 松くい虫の伝染



**弁護士による無料法律相談をおこなっています。**

●毎月 第4木曜日 17:00~19:00 \*1月は24日(月)

●場所 おちいし俊則事務所 ☆事前に電話予約をしてください。TEL:606-4541